

新設中学校開校に係る保護者説明会

令和4年6月22日 19:00～ 紀美野町文化センター

■出席者 保護者22人 学校関係者8人

小川町長

東中教育長 曲里教育次長 ほか事務局3人

■町長あいさつ

皆さんこんばんは、町長の小川裕康でございます。開会にあたりまして一言ごあいさつを申し上げさせていただきます。

皆さま方には昼間お仕事などでお疲れのところ、本日の懇談会にご参加いただきまして誠にありがとうございます。

皆さまとは、今年の1月17日、18日、中央公民館と下神野小学校で開催させていただいた懇談会でお会いして以来の方、又、初めてお会いさせていただく方もいらっしゃると思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。

その折に皆さまにお約束した大きな点は、当時の小学校6年生、既に4月から中学校1年生になっているのですが、その生徒が選んだ中学校で卒業ができるようにする。つまり令和5年4月、令和6年4月には新設中学校の開校はしないということ。新設中学校の開校日等については本年6月に皆様にお示ししますということ。

また、指定校変更は認めます。そして指定校変更した生徒の通学については返事が少し遅れましたが、通学支援バスを運行する。そうした内容でありました。そして本年4月からの指定校変更で野上中学校へ通学している1年生は3名、それまでに変更して野上中学校へ通学

している 4 名の計 7 名の生徒に通学支援バスを利用させていただいております。その後 5 月 18 日から 4 回の懇談会を開催させていただきました。こども園の保護者から中学校 3 年生の保護者までご案内をさせていただき、その懇談会でいただいたいろいろなご意見は教育委員会からお聞きしました。そして、新設中学校の必要性やその時期などを教育委員会と十分検討いたしました。その結果、今日の資料の左上に記載しておりますが、新設中学校の開校日は令和 7 年 4 月 1 日とする、新設中学校の学校名は仮称であります、紀美野中学校とし、その位置は現在の野上中学校、紀美野町下佐々 940 番地とすることが良いと考え、その旨を昨日、町議会議員全員にお伝えしております。これらのことを決定するためには条例改正が必要となり、9 月議会に条例改正案を上程する予定で進めてまいりたいと考えております。この資料の詳しい説明については、この後教育次長から行います。

さて、皆さまもご承知のことと思いますが、紀美野町は去る 3 月 1 日に「子ども子育て応援宣言」をいたしました。子どもは紀美野町の未来を担うかけがえのない存在であり、町の宝物であります。その子ども達が夢と希望を持ち、心身ともに健やかに育つことはわたしたちすべての願いであり、町の未来につながるものです。

子どもの笑顔があふれ、子育てに喜びを実感できるよう、家庭、地域、学校、行政、みんなが手を携え、地域全体で子育てを支える町をめざしてまいります。

現在、役場全庁的な取り組みとして子育て推進本部を立ち上げ、協議を重ねているところであります。その一つとして今、子育て推進のためのアンケート調査を実施しております。皆様方には既に回答いた

だいた方もいらっしゃると思います。まだの方はぜひご回答いただきますようお願い申し上げます。

令和7年4月1日の素晴らしい新設中学校の開校をめざして生徒の皆さん、保護者の皆さん、先生方、そして教育委員会が力を合わせてその目標に向かって進んで行きたいと考えておりますので、皆様方のお力を結集していただきますことを心からお願い申し上げまして一言開会のあいさつとさせていただきます。本日は誠にご苦労さまです。ありがとうございました。

■教育長あいさつ

今日は夜分にもかかわらず、新設中学校開校に向けた説明会にお越しいただきありがとうございます。いま町長のあいさつにもありましたとおり、令和4年の1月に、新設校の開校を少なくとも今の中学校1年生が卒業するまで延期することを発表しました。

原案については、6月にお示しするというお話しをさせていただき、今日がその日となります。

以前から小中学校の会長さんはもとより、保護者の方々の統合に関するご意見を何度となく伺いながら、町長とも協議を重ね、教育委員会としての原案を作成しました。

今日は町内のこども園、小学校、中学校の全保護者の方に案内を出させていただきました。全保護者の皆さんに、このように一箇所に集まっていただくのは初めてとなります。

今夜は小川町長も同席しており、教育委員会と町が連携した説明会ということになりました。案については次長のほうから説明させてい

たきますので、どうぞよろしくお願いします。

■新設中学校開校に向けて（案）教育次長より説明

皆さんこんばんは。私のほうからは、お配りしております資料について、説明をさせていただきます。

まず、資料の左側から説明させていただきます。新設中学校の開校予定日を令和7年4月1日とさせていただきます。中学校の名称は、仮称でありますが紀美野中学校と考えております。新設中学校の位置は、現在の野上中学校の位置とします。

時代の移り変わりにつれて、本町も少子高齢化が進み、町内の学校は統廃合しながらも規模はどんどん小さくなってきています。

中学生の時期は、同級生の様々な考えや意見にふれ、新しい自分を見つける機会を出来るだけ多く確保することが、子ども達の未来にとって非常に大切であると考えています。この時期に一人でも多くの友達に出会うことは、その後の人生をより豊かにし、ふるさと紀美野町に愛着をもった大人に成長してくれるのではないのでしょうか。

新しい出会いには必ず希望と不安が伴います。しかし、きっとその出会いは生徒たちの新しい世界を広げてくれると思います。

同じ時間を共有し、友情を深め、切磋琢磨し合える、学び舎となる新設中学校の開校を目指します。

新設中学校では、3つの魅力化を積極的に進めてまいります。

1つ目に、きぼうの宇宙(そら)へと続く ふるさと教育 でございます。地域の財産である「ひと」「もの」「こと」を活用し、紀美野町の今を見つめ、将来を考え、郷土に誇りと愛着をもった生徒を育成します。

2 つ目に、みらいへつながる ICT教育 でございます。全国に先駆け町内小中学校では一人一台の iPad を整備して、ICT教育を推進しています。その充実した ICT機器を小中一貫して有効に活用し、これからの時代を生き抜くために必要な創造力、表現力、思考力をもった、たくましい生徒を育成します。

3 つ目に、ノーボーダーの世界へ羽ばたく 英語教育 でございます。今の子どもたちは、今後ますます国境という垣根を超えた活躍が求められてきます。外国人材がALT3名、CIR1名と他市町村でも類を見ない恵まれた教育環境を活かし、外国語・外国文化に常に触れることを通して、英語に親しみ、国際感覚豊かな生徒を育成します。

次に右のほうになります。新設中学校開校のスケジュール（案）となります。新設中学校開校までのスケジュールを、視覚的にわかりやすく伝えてほしいと懇談会でご意見をいただきましたので、作成しています。上から順に説明させていただきます。

上の表では、令和7年4月1日 新設中学校開校は、現在の小学校6年生が中学3年生で、小学校5年生が中学校2年生で、小学校4年生が中学校1年生で迎えることとなります。

続きまして項目ごとで説明してまいります。今回の新設中学校開校の条例案は、本年9月議会を目指します。

校名については、紀美野町にただ1つの中学校となるため、紀美野中学校が適切と考えております。その他校歌、校章等については、生徒から公募を行ったりしながら、進めてまいります。

交流活動については、現在町内小中学校において様々な交流を計画しております。

学校見学会は、保護者の方々に学校での活動を見ていただくため、学校開放月間を中心に学校見学日を設けます。

校舎等改修の検討では、今後検討を行ってまいります。

制服、体操服、バッグ等は、各学校から代表者を選出いただき、部会で協議を予定しております。

通学路の安全対策につきましては、国道 370 号小川橋南詰から唐戸瀬橋までの区間の歩道設置については、町議会、県町村議会議長会から県に対して歩道設置の要望を行っていただき、現在測量がほぼ終了し、令和 4 年度では用地補償、一部の歩道工事を行う予定と聞いております。その他通学路への防犯灯の設置等対応を検討してまいります。

指定校変更、通学支援バスについては、来年度以降も対応を行ってまいります。

スクールバスについても、新経路での運行計画等を検討し、早い段階で保護者の皆様にお示しさせていただきたいと考えております。

閉校、開校式典については、学校で案を作成し、準備委員会で協議を行ってまいります。

P T A や生徒会組織については、合同会議を開催する等、開校年度の組織体制をどうするか協議し、決定してまいります。

今後約 2 年半をかけて、より良い新設中学校の開校に向け、進めてまいります。以上説明とさせていただきます

■質疑応答

○美里中学校を残したいという方も何人かいらっしゃるとの事だったので、その方向に進む可能性もあるのかと思っていましたが、統合す

るという事で決定なのですか。本日配付された資料のスケジュール通りで進めるという事で決定という事ですか。

A：本日配付しております、「新設中学校開校に向けて（案）」の形で進めていくという事で、今日は説明させていただいています。

○制服の案が出ていましたが、制服を決めるのは誰になるのですか。

A：各学校の PTA から代表の方を選出していただいて、その方がそれぞれ学校・保護者の意見を吸い上げていただいて、また生徒の意見も聞かせていただき、協議して決めていただくというふうに考えています。

○統合とか合併という色が濃く聞こえてきますが、ここに書いてあるたくさんの友達に出会ったり色んな経験をするという事は大事だと私も感じています。本日資料に書かれている「新設中学校では」という形で3つ目標が上げられていますが、これらは今できていないことが新設中学校開校後に目標とするのであれば、具体的にどのような事を考えているのか、決まっている事があれば教えてください。

A：現在でも、ふるさと教育は地域学習として各学校で取り組んでおりますし、ICT 教育、英語教育も、もちろん取り組んでおりますが、さらに充実をして取り組んでいきたい。

地域学習などはやはり、本日資料に書いているように地域の財産である「ひと・もの・こと」を活用し、紀美野町の今を見つめ将来を考える。こういった視点から、さらに充実させていきたいというふうに思

っています。

○それは、今できてない事を新設中学校で人数など増えたりする事によって、できることがたくさんあるという形で進めていくという考えでよろしいですか。

A：人数が増えることによって、より充実した取り組みができるというふうに考えています。

○美里中学校の保護者です。来年度、美里中学校に入学予定の現在小学校6年生の児童にとっては、最も重要な時期である中学校3年生の進路の時期に、新設校への転校を余儀なくされるという事であると思っています。それが今日はっきりしました。

そうなった場合に、保護者の視点であれば、前もってその場所に慣れさせておくため、1年生の時から野上中学校に入学させようかと思うと思います。先生についても、野上中学校にいる先生が新設中学校に多く残るのかなと勝手に想像してしまいます。

本日資料を見ると、昨年度に比べてすごく希望の持てるものになったと思っています。

一方で、令和5年度、6年度の美里中学校に関し、体育祭はできるんだろうか、卒業式には在校生がいない卒業式にならないか、とても心配になります。このことに関して、教育委員会としてフォローアップしていただけるのかお聞きしたい。

A：中学校3年生になった時でも、新設中学校に問題なく移れるように、交流学习を十分に充実させて、お互いにいつでも交じり合える。

そういう関係を作りたいと思います。また、不安なく移行できるように、先生方の配置についても、配慮していかなければならないと考えています。そして何よりも、美里中学校の教育の魅力化を図るということは必要であると考えています。

○今の時点で美里中学校は十分魅力があると思います。できれば統合をしてほしくないという思いです。現場の先生方もよくしてくださっています。美里中学校の魅力化を図るということでしたが、その言葉はちょっと違うのではないですか。

今の美里中学校、下神野小学校も、授業参観や学級懇談会は、よほどの事が無い限り、ほぼみさん出席されます。野上のほうは人数がそんなに多くないにも関わらず、出席率が悪いというふうにお聞きしました。それについては、統合することで何か変わっていくのでしょうか。

美里のほうでは、横のつながりがあります。そこにきょうだいがいることで縦のつながりもあり、いろいろな情報交換をするという場があるのですが、野上のほうはあまりそういうことがないというふうに伺いましたが、実際どのように把握をされていますか。

子どもに何かあった時、横のつながりがないと、聞けないのです。例えばいま不登校の子がいるとして、その不登校の子がなぜ不登校なのかということを親達も知らない、子ども達も知らない。そして、連絡もできないというような話を聞くのです。

美里のほうでは何かアクションを起こせますし、親同士の話ができるのですが、もし自分の子どもがそういうふうなことになった場合、

どういうことになっていくのかという、やはりその不安はあります。

野上のほうの保護者の、子どもとの関わり方、学校の関わり方、そういうことは実際、何人かから聞いただけなので実情がわからないのです。そのあたりどうでしょうか、教えていただけますか。

A：美里中学校は十分魅力的だというお話です。その通りだと思うのですが、資料の「新設中学校開校に向けて（案）」に書いていますように、ここが全てです。「新しい出会いには必ず不安と希望が伴います。しかし、その出会いは、きっとその子ども達に新しい世界を広げていく。」この思いで、教育委員会はいます。もちろん美里中学校も野上中学校も、いろんな面で魅力的な学校だと思います。

魅力的であると思うのですが、それは、さらに新しい出会いがあることによって、子ども達が、新しい世界、新しい見方、考え方を身につける、非常に良いチャンスになるのではないかというふうに考えています。

それから授業参観の出席率は下神野小学校がたいへんいいということです。それはたいへんいいことだと思います。こういったことについてはそれぞれ、学校のいろいろな状況もありますし、いま出席率がいいということは、保護者の方が熱心に自分の子どもたちの、教育に関わっているという証拠であるかと思います。

○野上地区のほうの懇談会などの出席率はどういうことになっていきますか、という質問をさせていただいたのですが。

A：それについて、いま何%の出席率という資料は、持ち合わせておりません。

○それでは統合した時に、やはり不安が残ったままになると思います。

新たな出会いをとというのは、これは当初から教育長さんがおっしゃってますけど、横のつながりってやはり田舎の良さなんです。地域で子どもを育てるといえるのはそういうことだと思っていて、私も自分の子どもを自分の力だけで育てたとは思ってなくて、他の保護者の力も借り、学校の先生方の力も借りて、学校の先生方のおっしゃることになるべく沿うようにというふうに、親として何とかやってきたつもりではあるんです。それが統合することによって、そこが希薄になってしまうということになったり、子どもが何か悩んだ時に、どうしようってなった時に、やはり困ってしまうんじゃないかって、やはり、その不安が大きかったんです。

今までも野上地区の方で、全員じゃないんですけど、やはり一部言葉が荒かったりですとか、まあ、子ども同士もいろいろそういう思春期特有のものっていうのがあったりしても、親が立ち入っていけない。そういう所、やはり横のつながりがあることで多少回避できたりとかというような部分はあると思うので、そういうのってなかなか皆さんお忙しいので時間を取ることもできないのかもしれない。

交流も別に親同士が交流したいっていう訳じゃないんですけど、そのあたり、今日の会もそうですけど、野上地区の人がどれだけ出席されてるのでしょうか。新設中学とおっしゃってますけど、前の懇談会の時でも申し上げたんですけど、野上の方が「来てくれるんだったらどうぞ来てよ、人数増えたら私達も嬉しい。」という感覚なんです。野上中学校の場所が何も変わらないですし、「来てくれるんだったらウェ

ルカムです。」って言うてくださる方も何人もいらっしゃって、「美里の方の人達は遠くなるからたいへんだね。」って、もう他人事なんですよね。

自分達で一緒に新しい学校を作り上げようって思ったださる方が野上の中でどれだけいらっしゃるのか。だから、前も申し上げたんですけど、同じ土俵に立つということをしてくださらないと。新設校をいいものに作り上げていこうと思ったださるのであれば、やはり同じように思ったださらないと。

そういうこともありますので、できれば新しい校舎をどこかに作っていただきたい。そういうふうにしていただければ、本当に一から作り上げるということになるというふうに思いました。もちろんお金がすごくかかることなんですけれど、美里の人達だけ、何かが変わるっていうのは、やはり違うんじゃないかなというふうに思います。もちろん野上中学校もいいところはたくさんあるだろうし、人数がある分美里中学校にはできないことができたりするところはあると思うのですが、今日の会をお声がけていただいて、町長さんもこうやって来ていただいた状態でも、集まれる人、集まらない人、「行ったところで。」といった人もいるでしょうし、「どうせ何も変わらないし。」というところもあるでしょう。

この話し合いをしていくうえで、何か一つ決める。一番初めにバスの時間、紀美野中学校に着くのが7時30分っていう一番初めに出していただいた時間だったと思うのですが、7時30分到着だったら、たぶん野上中学校のクラブが始まる時間には遅いと思うのです。でも、美里中学校は7時45分に始まるのです。その差もあるじゃないで

すか。そうやってきた時に今度、野上の人が「それだったらあかん、遅くなる。」と。そうになったら話が進まないというか、そこでまた止まってしまうということになるので、できれば本当に同じ土俵に立つということは、何とかならないものではないでしょうか。それがすごく切に願ってるところであります。

美里の人だけが「お邪魔します。」って行くのでは、やはり新設ではないとどうしても思うんです。新設と思っていただいて、本当に「子ども達の未来を」と思ってくださるんだったら、私の子どもも今後中学生になりますが、先ほどの美里中学校の保護者さんがおっしゃったように、子ども達のバスも配備されたことで、じゃあバスで野上中学校に行けるんだったら、住所も変えなくていいし、行こう。という方もやはりたくさんいらっしゃる。いまの小学校6年生は10人なんですけど、半数はもう野上中学校に行くであろうということになっているんです。それでも、うちの子は美里中学校に行きたいと思っていたから、人数が減って残念だけど、でも美里中学校に行けるっていう気持ちがあって、さみしさはもちろんあるのだけど、うちの子は美里中学校に行きたいって思いがあったから、美里中学校の良さを知っているから、小さい時から中学校を見せてもらいに行っていましたし、地域の交流がすごくたくさんあったので。

そういうことが野上中学校に行くとうどうなるのか。いまの美里中学校の子が美里中学校を卒業して、高校生に上った時、社会人になった時に、帰れる中学校にしてもらわないと、困るんです。美里中学校が無くなるんですから。新設中学校に私達も行ってもいいと、思えるような中学校にしてもらわないといけないんです。

野上の人達は場所が変わらないから、卒業して、また戻って来る時に行きやすいと思うのですが、美里地区の人は美里中学校を卒業して、新たな新設の中学校といっても、元々野上中学校なので、野上中学校に行こうかなってなるかって思います。やはりそのへんのことも全部含んで考えていただかないと。

私達の子どもが、ここでそのまま居を構えて、働いてというのであれば、孫もそうです。この地域で育っていくっていうふうに考えた時に、やはり自分の孫も通う学校になり得るんですね。

だから、美里の人ばかりが何か、一生懸命になってるというのが、違うんじゃないかなって思います。野上の方がどういうお考えなのかっていうのをすごく教えていただきたい。興味がないのか、関心がないのか。何とかこう野上の方々でも一緒に考えてほしい。この間も教育懇談会の参加者が3人だけしか無かった。野上はあれだけ人数があるのに、3人しか出席されない。

A：いろいろとおっしゃっていただき、それは本当に率直なご意見だというふうに受けとめております。

何点かおっしゃってくれた中で、またその前には別の保護者さんからも、質問がありました。今年中学校に入った生徒は卒業までそこで居られる。しかし、来年度に入る生徒は、中学校3年生のときに、一つの中学校になるということになる。今後一つの中学校になるとしたら、どこかでそういう形になってしまうのです。しかし、突然なるわけではないのです。

突然令和7年4月1日を迎えるのではなくて、それが決まったら、2年数ヶ月かけて、例えば一年生は一年生同士で交流するとか、

今までにないような交流をすることによって、令和7年4月1日をスムーズに迎えられるように、そのための、今年度の後半、来年度、再来年度をかけて有意義に交流を進める。年月をかけてしっかりと令和7年4月に向けて準備する。これは生徒だけでなく、先生方や、もちろん保護者の皆さんにとってもそうです。

これからいい学校を作り上げていこうという中には、もちろん保護者の方にも入っていただくことになります。それは、美里地区の保護者、また野上地区の保護者のどちらもであります。

今の段階では学校の懇談会や、新設中学校の説明会などの時に、野上地区の保護者さんの出席は低いようですけれども、準備委員会ができれば、その中では同じように一つの新しい新設中学校を作り上げていくという、皆さんが同じ気持ちで、令和7年4月に向かって進んでいっていただきたいという思いは強く持っております。

たまたま、今の野上中学校の校舎を使うということにしておりますけれども、それは面積的な部分ということもあるわけなのです。しかしながら、新しい中学校は、美里中の生徒、野上中の生徒、美里地区の保護者、野上地区の保護者、皆さんで作っていこうという気持ちでありますので、今の段階から、これから令和7年に向けて、皆さんでステップアップしていっていただきたい。そういう気持ちは持っております。

それと、保護者同士のつながりについておっしゃってくれましたけれども、その点については、どうとはなかなか申し上げにくいのですけれども、それはまた新たな形で作り上げていってもらうということになっていくのかなと思います。

今は、美里中学の保護者、野上中学校の保護者という形にはなっておりますけども、今後は一つの新しい中学校の保護者という形でつながりを深めていただければいいなと、このように思っておりますので、よろしくお願いします。

皆さんで、この2年半をみんなの力で、いい中学校を作っていくと。そういう思いを我々ももちろん持っていますし、保護者の皆様にも強く持っていただく。そのように進めていければと思っております。よろしくお願いします。

○先程から町長さんより、一緒にやっていこうという思いがある。ということはすごく伝わってきました。

前回の懇談会の際、「新たな場所に新しく校舎を作って、一からということとは不可能なのですか。」という話をさせてもらいました。というのは、たぶんこの先で子どもの人数がものすごく増えるということはないことで、人数がどんどん減少していくと思います。決まっている訳じゃないですが、ある程度の人数というのは見えているわけです。

一生懸命Iターンなど、紀美野町に来てくれるように、いろいろ努力はしていただいているのですが、新たに校舎を作るということはお考えとしては無いのでしょうか。

A：校舎を作るというのは大変な作業でもありますし、今の校舎が建築後どのくらい建ってるかということも一つあると思います。

今の予定では、野上中学校の校舎を使うということになっております。その根拠を申し上げますと、校舎は昭和57年から59年にかけての建築で、耐震構造になっています。先だって平成25年度に大き

な予算をかけて大規模改修を行いまして、今の姿になっているということですので、もうしばらくはこの校舎を使っていきたいと思います。

また、先ほど次長が申しましたように、何も改修もせずにそのまま使うということではなく、やはり改修すべきところは改修して、令和7年4月1日を目途に、それまでの間に、ここは改修しないといけないうという所は、どんどん改修していくということであります。そのようにして、校舎そのものは、今の校舎を使っていく予定にしております。

○令和4年度の時点で、5年生、6年生の子が希望した中学校をそのまま卒業できるという可能性はないのでしょうか。先ほどから不安だという話を聞いていたら、そういう選択肢が欲しいという方もいらっしゃるのでは、難しいのでしょうか。

令和4年度で4年生の子は、中学校1年生の時に新設中学校に行きますから、うまく始められる可能性はあると思います。

中学校の途中で新設中学校に移るというのは、かなりメンタルが強い子じゃないと難しいと思うのです。中学校2年生や、3年生から新設中学校へ行かないといけないというのは、回避できないのですか。

A：新しい学校を作るということですので。

○それはでも建前で、新しい学校を作るって思ってる方は一部の方なのではないですか。たぶん、ここにいらっしゃる方のほとんどがそういうふうに思っていないのではないですか。名目上は新しい学校を作りますけど、先程もおっしゃっていたように、野上の方達は、

「ああ、来てくれるんだな。」という人が 100%なので。それで、美里の人達は、やはり新しいものを作るというよりは、行かせてもらうという気持ちになっている方もたくさんいらっしゃいます。そういうのは事実なので、たぶん難しいかなと思います。

A：それについては、いま町長の話にもありましたけれども、これからですね、例えばPTA組織をどうしていこうとか、生徒会をどうしていこうとか、あるいはバグとか制服はどんなにしていこうとか、いろんなことをそれぞれ5校が寄って話し合う中で、皆さん同じ土俵に立って、新しい学校を作っていくという話し合いができるのではないのでしょうか。

○それはでも、できる方もいらっしゃると思いますけど、やりたくない方もいらっしゃるかなと思います。

在校生はそのまま美里中学校で卒業できたら、やはりいいのかなと思いますが、そんな意見はなかったのですか。前回アンケートを取ったというふうに聞いたんですけど、皆さん知っていますか。

A：去年の夏頃から秋にかけて、令和4年4月1日を新設中学校の開校日として、ひとつの目標を立てて進めていましたけれども、その折には保護者の方に詳しく説明できてなかったということもあって、令和4年度の開校は先延ばしにしますということになりました。

その後年明け頃に、令和3年度の小学校6年生の生徒達は、野上中学校、美里中学校のどちらでも選択でき、また選んだ学校のまま卒業できるようにします。ということになりました。

それについては、今年の1月の話でありまして、新設中学ができる

ならば、どこかで、中学校の途中でどうしても変わらないといけないということに、必然的になるわけなのです。

その変わり方が、スムーズにいくように、先ほどから申し上げたように、令和7年4月1日を目標にしておりますので、この2年間かけて、1年生は1年同士で、もっともっと交流する、2年生は2年生で交流するということで、スムーズな形で令和7年4月1日を迎えるようにしていきたいという、そういうことをお答えさせてもらったところであります。

○大体理解したのですが、スムーズな統合とおっしゃっていますが、令和4年度の、5年生6年生の子が一番たいへんかなと思います。

美里中学校の子達、その子ども達や保護者の意見というのは、そこには入っているのですか。その説明を受けて皆さん了承されているのですか。

A：1月に説明会をした時に、なぜ統合という話がずっと出てきたが、生徒も少なくなってきたやはり中学校は、クラブ活動の充実であるとか、いろいろ切磋琢磨して成長するためには、ある程度の人数が必要であるということの中で、それを望んでいる保護者の方も大勢いらっしゃるということが分かりました。先ほど申し上げたように、今年の1月17日に中央公民館、18日は下神野小学校で懇談会があったんですが、それまでの説明がやはり不足であったということを我々も反省する中で、令和4年の4月は統合しませんと。昨年度の小学校6年生の子が選んだ中学校で、卒業できるということにしますということで、

早くても令和7年4月1日を目途に進めていきたいということ。ですから、その当時の小学校5年生の子は、中学校3年生になったときに、4年生の子は、中学校2年生になった時に、新設中学校の生徒になるということは、その時点で説明をさせていただきました。

○その方達からは反対は無かったのですか。

A：皆さんから、いろんな意見をお聞きしましたがけれども、反対されるということはありませんでした。

○小学校4年生の母です。令和7年度に中学校1年生になる予定です。これはお願いなのですが、これから交流を深めて、子ども達が今までは野小の子、下小の子、これからは交流があることで、多少なりとも子どもの関わりというのができてくると思うのですが、一時的な時間の中での交流と、丸一日一緒に過ごす子どもたちが、見えなかった部分が見えてくると思うのです。そういった時に、下神野小学校4年生は5人男の子がいますが、2クラスに別れる時に、例えば1対4とかにされてしまうと、1人になってしまう。こうなった時に交流の時に仲良くできるかな、大丈夫かなと思っていても、新設校になった時に、やはり「ちょっとなあ。」と思うことも出てくる。2クラスに分ける時に、男女それぞれ半々の人数にするなど配慮していただけたら安心かなと思います。

もう1点、「みらいへつながるICT教育」を新設中学校では目標にしていくという事ですが、この辺りでは、そんなに新型コロナが蔓延しているということではありませんが、都会のほうに行くと、こうい

う ICT 教育というのが充実しているようです。例えば新型コロナで濃厚接触者になり、学校に行けなくなった場合に、i P a d を利用して子どもが授業に参加することで、欠席とはならない。というような事も大阪のほうでは行っていると聞きます。新型コロナも今後また蔓延する事も考えられますので、補習という形よりは、みんなと一緒の授業で参加していくほうが子どもにとってもストレスがないので、この点もお願いしたいと思います。

A：クラス分けの心配をされてるということで、今おっしゃったように、いろんな観点から検討して、クラス分けをしていくことになります。

それから ICT 教育のことなのですが、当然、そういった授業をオンラインで行うという使い方もできます。

そういったことの活用も十分していくよう、学校のほうへ伝えておきます。

A：交流学习についておっしゃってくれたのですが、ここで交流学习と書いてるのですが、この意味合いは、通常の交流学习ではなくて、令和 7 年 4 月を見据えたような形の、そういう合同学習的な形になっていかなければいけないというふうに思ってます。

単に、今までであれば学校が違うから、学校同士の交流という観点の交流ではなくて、統合という目標に向かって進んでいく、合同学習、踏み込んだ形の学習にしていかなければならないと思っています。

○子どもはいま野中に行かせています。クラブも選択できる状態で、陸上をやっています。親として聞いていると、選択の結果自分が選ん

だという事で、すごく健全だなという気がしています。

新設中学校になり、どういう教育をしていくかというのは、検討されると思うのですが、これはお願いなのですが、教育委員会や学校のほうだけで決めるのではなく、保護者にヒアリングするだけでもなく、もっと広く今の社会で子ども達がどういう資質が必要になってくるのかというのを吸い上げる努力をしてもらいたい。それを2年後とか3年後に新設校で、どういうプログラムの中に組み込んでいけるかというのは、できるだけ丹念に拾っていつてもらえたらと思います。

親だけでなく、学校の先生だけでなく、結局、社会に出てから、何を学習して良かったかと直面するのが二十代や三十代の人達になると思います。今日ここに座っている方達にとって、聞き取りにくい、声が拾いにくい人達の中に、実はこれから中学校でこれをやっておけばよかったというヒントがあったりするので、その辺を拾っていただける努力をしてもらって、できるだけ新設校の特色に生かしてもらえたらというのがお願いです。

和歌山県とか近畿とか全国でみても、他にない特色というのをできるだけ持たせていただきたいというのが、切なる願いです。

その延長線上で、下神野小学校は4年生までの人数は結構いるのですが、今の小学校2年生、1年生と、ぐっと人数も減ってくるので、やはりここ数年間の努力と頑張りで、県外から紀美野町の小学校中学校の教育を受けさせたいという希望者、紀美野町に移住する方を引っ張って来てほしいと思います。

A：今おっしゃられた通り、子ども達がどんな力をつけていくかとい

うことをきちっと押さえて、やっていくことが必要であると思います。

そういったことは今後、学校を交えて十分話をして、教育目標などを立てていきたいというふうに考えてます。

○本日はこういう会を開催していただきありがとうございます。教育長はじめ、教育委員会の皆さんはお忙しいなか、一人一人の意見を本当に大切に聞いてくださって、また先月行われた4回に及ぶ懇談会の開催、そのことを迅速に資料にしてくださって、ホームページに載せてくださって本当にありがとうございます。

どこでどのような話がされていて、どんな状況なのか、拝見させていただくことで、安心にもつながりますし、質問や相談も思いつきでも、気軽にしやすくなったと思います。資料にするのは本当に大変な仕事だと思うのですが、今後もこのような形を取っていただけたら、たいへん助かります。よろしくお願いします。

そんな中、私達のように興味のある当事者は、ホームページも自ら見に行くのですが、子どもが在宅していなかったり、普段スマホなどのツールを使わない人は、知らないまま今回の事も進んでいっているという事になってしまうと思うのです。先日近所の方が「中学校が合併するんやってなあ。初めて聞いた、びっくりした。最近孫が生まれて、里帰りしてきて、いま実家にいるのだけど、美里に住む事も考えていたのだけど、近くに中学校が無くなるんやろ。」という話になりました。私は、いま新しい中学校について、町民の意見も聞きながら、美里地区で奥に住んでいても不便だと感じさせないような、魅力的な素敵な中学校がきっとできるよというふうに断言しました。

その方は生まれも育ちも美里の方なのですが、今回の事をご存知なかったということから、地域の方々、特に美里の方々が置き去りになっている状態かと思います。地域の方々に説明をしていただく機会を設けていただけたらと思います。

私も12年前に引っ越して来て、親戚もいないのですが、地域の方々に支えられて、それでここまで来る事ができ、生涯ここで暮らそうというふうに決めました。そういうお世話になってきた方々に、今回のこともうまくお伝えしていただきたいという思いがあります。

でも、こういう説明会があるとなっても、なかなか足が向かないのかなっていうふうに思います。広報に載せても、埋もれてしまうような気もするので、合併通信みたいな定期的なお知らせを回覧板などで回していただくとか、もう統合が決まったのであれば、大々的に発表していただいて、その方向へ町全体で向かっていっていただきたいという思いです。

美里中学校の学校だよりは、美里地区の回覧板で見ることができるので、「自分とこの子、載ってたなあ。」とか、近所の方にもよく声をかけていただくのですが、同じように野上中学校の学校だよりを美里地区でも回覧するなどしていただけないかと思います。野上中学校の事をもっと私も知りたいので。

A：今のホームページの話もそうですが、今日のこの会の話も全部公開してホームページに載せていきたいと思いますし、今日は欠席されてる方もいらっしゃるし、地域の方にも、今日はこういう案を示させていただいたということで、お知らせしたいというふうに思っています。それから野上中学校の学校だよりの話もありました。ど

この学校でどういうことをやっているかという事を知るのもいいことだと思いますので、学校と話をしして検討していきたいと思います。

○私は以前から、美里中学校の卒業生も気軽に寄れるような、新設校がそんな母校になってほしいという思いがあると話をしていたのですが、図書館のような自然と人が集まるような場所が中学校であってもいいのかなと思っています。

新築の図書館が難しいのだったら、前回の懇談会で教育長にもお話したように、ノビノスみたいな所っていいよねという話をさせていただく事ができたので、そういうのが中学校にあると町民が寄りやすいのではないかと思います。

中央公民館や各学校でも、新しい本を購入してくださるのはありがたいのですが、子どもが本を手にするという機会があっても、親が本と出合うような場所がこの町にはないので、そういう場所が通学路にあたりすると、ふと立ち寄って勉強したり、帰りが自転車であれば、美里の子が立ち寄って休憩するような場所になったり、待ち合わせしたりできる場所になったりするんじゃないかと思います。

その話と繋がるのですが、新設校は今の野上中学校の場所を使うというふうに理解したのですが、下神野小学校の高学年対象の懇談会の資料を拝見させていただいた時にプールについての話があったのですが、いま目かくしもないですし、老朽化の問題で建て替えも考えているっていう回答が掲載されていました。いまプールの時期といわれる季節は紫外線の影響とか、猛暑による熱中症の心配もあり、先生方も大変だと思います。少子化でプールの授業自体をなくしてしま

うというような学校もあると聞くのですが、民間のプールを使ったりすることで、授業自体もコーチを雇って行っている学校が、ここ数年新型コロナの影響もあり、増えてきているという報道も見ました。屋根付きにすることとか、温水プールとして普段は使用できると町民の体力増進にもなると思いますので、いろいろとやれる事が無限大だと思うのです。

プールを建て替えますと決まっている訳じゃないのに、こんな事言うのはなんなのですけど、日焼けなどのリスクを負ってプール学習をするのではなく、春や秋にもプールの学習をする事もできるし、農村センターのプールも今は無いから、子ども達にとっても川はちょっとリスクが高すぎるので、スイミングを気軽に習える環境が中学校のプールにあったとしてもいいのかなと、理想として思います。

あわよくば私も、生涯ここでいろいろしたいと思いつているので、そういうことを先程の保護者さんもおっしゃってましたが、そういうのが保護者同士のつながりの場所になるんじゃないかと思うので、中学校というのが町の顔になるような気がするので、そういうことができるのが田舎のよいところなのではないかなと思います。

図書館やプールの建設が難しいのであれば、プールも建て替えるのであれば、本当に慎重に、よく考えてもらって、いい方法を全体で考えていただけたらと思います。

A：ありがとうございます。確かに今おっしゃったように海南のノビノスのような図書館というのは無理だと思うのですが、中学校の図書室を魅力的なものにするとか、今おっしゃられたプールについても、いろんなアイデアがいま出ておりまして、他の県内の学校でもい

ろんなことが検討されています。

そういったことを参考にしながら、どうしていくかという結論を出していきたいと思っております。

○プールの事なんですけど、去年の中学校のことは分からないのですが、中学校は以前プール水泳が中1と中2だけだったんです。中3は受験があるからという事なのか、美里中学校ではプール水泳をしなかったんです。1年と2年生だけ、下神野小学校のプールに行っていました。

コロナの影響なのか分かりませんが、去年は3年生もプール水泳があったようですが、なぜか野上中学校に行ってという事になったという事でした。今年も野上中学校に行ってプール学習を実施しますとなっていて、その後に交流という事をお考えなのかもしれませんが、プールはもちろん野上の子は野上の子、美里の子は美里の子だけで授業をしていただけるとは思っているのです。というのはやはり、思春期であるので、できれば肌を露出するのは。

普通だったら一般的に中学生になったら一緒にするのか知りませんが、今まだ別々に行っていますし、あんなに周りからまる見えの所で、特に女子はできれば避けていただきたいという思いがあります。それだったら下小のプールを使わせてもらってもいいんじゃないかなと思うのです。下小だったら完全に高い所まで塀があって、全く周りから見えないような状態ですし、綺麗ですし、野上中学校のプールを使用しないといけないという理由があるのかなと思います。

交流は交流でまた別にしていただけるのであれば、プールがあるか

らついでにそこで交流したらいいではないか、というのはまた違うような気がして、できれば綺麗な所でプール水泳をする方が、子ども達にもいいと思いますが、その辺はどうでしょうか。

A：プールのことについてなんですけども、以前の懇談会の際にも道からよく見えるという話がございました。今すぐ大きな工事をするということにはなりませんので、とりあえずではありますが、見えないようにするために、私どものほうで対策物品を購入して、プールの周りをいま囲っております。それで多分見えにくくはなれると思うのです。そういった形で急遽対策を取らせてもらっています。

○私も女兒の親なので、野上の女子生徒の事も考えて、やはり女の子が思春期にまる見えは、ちょっとよくないなと思うところがあったのです。

野中に行って野中のプールで水泳をやらないといけないという理由がわからないので、交流をついでにとって思われるのであれば、別についでにしなくても、下神野小学校のプールを使用すればいいのでは。交流は交流で別にさせていただくという可能性はないのですか。なぜ野上中学校のプールに美里中学校の子が行かないといけないのか。異動するのも遠いでしょう。

A：この交流については、1年生から3年生まで全員行ってプール水泳の指導をするとなっています。学校のほうで他の交流も考えてくれていると思いますが、現在はプール水泳のみとなっているようです。

○教育委員会から指導があって、野上中学校のプールに行って交流し

てくださいという流れになっているのではないですか。

私は去年の事は分からないのですが、去年ぐらいからプールは野上中学校のプールに急に行く事になった。3年生も行く事になったと聞いたが、私はその経緯が分からないのです。

なぜ下神野小学校のプールのほうが綺麗なのに、わざわざ遠い野中のプールに行ってというのが、前の会の際に私は知らなかったから、うちの子は関係ないけど、野上の中学校は周りから見えるから、ちょっとあれは何とかしてあげてくださいねと、教育次長に申し上げたと思うのです。

その後、学校からたよりが来て野中でプール水泳をしますとなったから、「え、なんで野中で。」と思って、上の学年の保護者に聞いたら、「去年からそうだよ。」と聞いたので、なんでなんだろうなど。

A: 去年はプール水泳の指導について、美里中学校の生徒だけで行いましたが、野中の校舎はどういったものか、野中の生徒はどんなふうに勉強しているか、そういったことにも慣れていくということで、野上中学校のプールを使用したという事だと思います。

○今年度については、そのまま野上中学校でという事ですか。もし、プールをリニューアルしてくださるというお考えがあるのでしたら、その時点から野上中学校でというのであればよいが、別に野上中学校のプールを使用しないといけないという何かがないのであれば、学校の都合があるのか私も分からないのですが、下神野小学校のプールでも問題ないのではないか。下小のプールのほうが新しいし、周りに何も無いし、母校に帰れるし、と思って言わせていただきました。

今日でなくていいので、一度お話ししていただいて、学校の都合もあるでしょうし、それによって下小の手間がかかるのであれば、それはそれで申し訳ないですが、例年ずっとやってきた事なので、なんでなんだろうって思って、下小でもいいのになと思ったので。

これについて、またお返事ください。

○小川地区の保護者です。個人の意見としては中学校の新設は賛成ではないが、賛成です。

スクールバスについて、小川地区と志賀野地区がスクールバスに乗っていないけど、美里の方はスクールバスに乗れている状況です。美里地区から来るバスに志賀野地区と一緒に乗れないのか不思議なんです。新設中学校になったら一緒に乗せて行ってもらった方がいいと思います。やはり遠い所から来ているので。

小川からも中田、奥佐々など本当に山奥から来ています。今の状況は子ども達が朝早く起きて、7時過ぎくらいでしょうか、朝練に間に合うように自転車や送り迎えで来ています。

新設に関してバスに乗れるようにしてもらえたら、ありがたいと思います。今の現状では美里方面しか乗れていないので、美里方面で乗れるのであれば、やはり志賀野地区も一緒に乗って行った方が、志賀野地区はなぜ乗れないのかという気がします。

今年から美里方面から野上中学校に来る子がバスに乗れるようになったのを野上地区の方も初めて知ったようです。みんなに連絡がなかったのも、それはまた、みんなになぜバスが出るようになったのか通知を回してほしいそうです。

小川地区もいま中学生は10人あまりです。だんだん子ども達が少なくなっていますが、距離的に問題があるので、かわいそうなので、バスに乗れるよう、新設に向けて考えてもらえたらと思います。

A：今スクールバスが出たのですけども、令和7年度からスクールバスを新しい経路で走らせるにあたって、今いただきました話も検討材料に加えていきたいと思います。

○前に美里地区の人は、令和7年4月という事を賛同されているのですか。という質問に対して、反対の意見がなかったので賛同だというふうに思われているようでしたが、そのように思われているのですか。

A：今の段階でもやはり、残して欲しいという気持ちの方も必ずいらっしゃるというのは、よく分かっているところです。しかしながら、やはり大きな目でみると、中学校では、ある程度人数がいて、クラブ活動であったり、いろんなことが、高校へ行くにあたって一つの大きなステップであるということを捉まえば、もう少し大きい学校のほうがいいのではないかという思いで、今進めてるということです。決して皆さん全員が賛成ですよというふうに捉えてはいません。

○統合に対して私も絶対反対という意見でなくて、できれば置いといてほしいけども、統合に際しては慎重に考えていただきたいということです。これだけ延ばしていただいて、という事ではあるのですが、なにせこのご時世で、今までもいろいろ交流について計画していただいています。うちの子は今年修学旅行だったんですけど、豪雨の中での修学旅行で、本当だったら、串本の潮岬の大きな芝生のところで、

野上と、小川と、下神野小学校と、みんなで芝生を存分に楽しんでというところが、雨で全く楽しめる状態じゃありませんでした。そういうようなことが、やはり起こってくると思うのです。

とりあえず計画しました。だけどできませんでした。で、次へ進みます、っていうようなやり方では、やはりよくないと思っています。

本当に交流ってすごく大事だと思っていて、うちの子も習い事などをしていた時もありますし、野上小学校の子も知らない子ばかりという訳ではないですし、多少お話しする子とかもちもろんいますし、小川の子とかもお風呂とか一緒だったりして楽しかったと言っていたし、やはり交流という事で何かする事によって、少しずつ距離も縮まっていくと思います。

無理やりどうしても、という事ではなくて、柔軟にさせていただいた方が子どものために一番いいと思うので、そのあたりは時間をかけて、段階を踏んで、重きを置いていただきたいと思います。

A：ありがとうございます。昨日ですが、議員さん方にも説明させていただいたのは、統合の予定年月日、そして学校名、そして学校の位置、大きくはその点で、こういう形で進めていきたいと思っています。

先ほど、次長が申し上げた、本日資料の右のほう、開校のスケジュールについてですが、これは今後みんなで作り上げていくという事です。

大きく言えば、もちろん生徒にも関わってもらう、保護者も関わってもらう、先生方にも力を入れてもらう、もちろん教育委員会、役場としても、という事です。

先程あいさつで申し上げたとおり、皆さんで、一つの新しい新設中

学校を作り上げていこうという気持ちになっていただきたい。そういった思いを強く持っておりますので、その中でいろんなことが、課題として協議されていくのだろうな。というふうに思っております。

みんなで意見を出し合って、一つのいいものを作っていただければ、そんな気持ちでおりますので、ぜひ皆さんにお力をお貸しいただきたいと思っています。

○統合した後の事なんですけど、以前に35人がボーダーラインと伺ったのです。35人を超えると2クラス、35人以下だと1クラスというふうに、中学校には人数の規定があると聞きました。

36人以上必ずないと2クラスにできないというのではなくて、例えば、いま美里の子達だと1クラスの人数がだいたい多くて10人前後なんです。そのほうがやはりすごく教育的にも細やかなところまで先生が目配りしてくださるところがあって、それが美里中学校の魅力でもあると思うのです。

先日も授業参観を拝見したのですが、理科の授業で1人に1つずつ顕微鏡があって、その顕微鏡に対して担当の先生が、写真を撮るのにわざわざ自分で作られた機材をそのタブレットにはめ込むように、全員分を作ってくださっていました。

別に先生にそこまでしてくださいと、望んでいる訳ではないのですが、割と距離が近いというか、そういうようなところで、親には言えない事も先生に相談したりとか、いろいろ話をしたり、もちろん先生と生徒という位置付けは必要だと思うのですが、人数で区切られてしまったら、急に33人だからこの学年は1クラスだってなってし

まったら、しんどいなって思う子もいるんじゃないのかなと思います。
そのあたりどうなのでしょう。

3 3 人の学年もあると聞きますが、これは私の意見なので、下の学年の子を持つ保護者さんに、一度そのあたり、この先で聞いていただきたいなと思います。どちらがいいのかというのは、私も分かりませんが、私だっただけでも、私だったら半分に分けてほしいなと思いますが、そのあたりもまたご検討いただけたらと思います。

A：クラス編制については、法律や規則で決まっています、何人を超えた場合は、ということになっています。

学校の裁量で例えば、少人数に分けて、ある時間だけするとか、そういう事は可能かと思いますが、それは、あくまでも学校の体制の問題で、それが常にできるとは限らないのです。

一番いいのは3 5 人を超えた場合が一番いいのですが、それを下回ったときでも、工夫によって何とかなる場合もあります。

○下神野小学校の保護者です。なかなかこういった意見を聞いていただける場ってない中で、いろいろと意見を言わせていただいています。

先程から皆さんも言われているとおり、新しい中学校という事で、できれば皆さんで作りに上げていくという事です。これはお願いなのですが、かなり難しいとも思うのですが、今は3 5 人という縛りも、文科省でこう決まっているからと言って、それをそのまま採り入れるのではなく、できればそれをしない事をメリットというか、少ない中で細やかにできる事がメリットだと思います。

文部科学省ではこれだけの人数で2 クラスになりますという事をで

できればここはこうしてないです。というような事をやっていただければ、これは希望です。

ちょっと難しいとは思いますが、「これはできないです。」とか言われると、だんだん希望が減っていってしまうので、なるべく前向きにいろいろ検討していただけるとありがたいと思います。

○今おっしゃられた事はたぶん、新しい学校を作る。そしたら、美里の人達は人数が少ない所から大きい所に行く。もちろん大きい所で学ぶところもあるのだけれど、細やかな教育がなくなるというのは、やはり心配だという事だと思います。

文部科学省で決まっているルールがあるから、ルール通りにしなければいけません。違う事をするとう文部科学省からお叱りを受けるというのであればあれなんですけど。違います、我々は町民の願いを叶えるために、本当だったら36人以上でないと2クラスにできませんが、紀美野町は子育てを応援するので、2クラスにしますというような姿勢でいてほしいという事だと思います。

やはりそれだけ本気を見せてほしい。もちろん本気でやってくださるのは分かるんですけど、やはりその乖離があるというか、決まりはもちろんあると思うんですけど、本当に子ども達にとって何がいいのか、親が求めているのは何なのかというのを思ってくださいるのであれば、ルールはこうだけでも特例として紀美野町はこれだけ子ども達のためを思っています、保護者の事を思っています。これだけ細やかにしますよっていう事が売りになれば、それこそ先程他の保護者さんが、定住促進についておっしゃったように、「紀美野町はそういう事をしてくれるんだって、それだったら紀美野町に行って学校に行かそ

うかな。」と思ってくれる人が増えるんじゃないかという希望的観測も込めてだと思います。

○人数が少ない事をデメリットにするのではなくて、メリットに変えていけるような、希望が持てたらいいかなと思います。

A：今おっしゃられた、ルールというか、35人学級というものを、町で変えられるかどうかということになれば、難しいかと思います。

ただ、大きな大きな宿題というふうに捉えさせていただきたいと思います。できるものならば、町でできることはどんどんやっていきたい。もちろんそのつもりでおります。

先ほどおっしゃられたように、子育て応援宣言の中で、いろんなことをやっていくという事は今もやってますし、更にやっていきます。

でも、これは町だけでできる問題ではないので、そういったご意見をいただいたという事をしっかりと認識しておきたい。そう考えております、よろしくお願いします。

○開校のスケジュールの中で、スクールバスの事など意見も出ましたが、意見を吸い上げる際の吸い上げ方を再度検討していただきたいと思います。

去年からいろいろと関わっている中で思うのは、末端の方の意見、思っている事があるのだけど、言う事ができていない。そういった事があり、余計に時間がかかってしまうという事が結構あります。

こういった会でも、マイクを持って喋れる方はたぶん大丈夫だと思うのですが、必ずしもマイクを持って喋れるかと言うと、そうでない方もやはりおられます。

いろんな形でみんなの意見を吸い上げてやっていくとなった時に、例えば先程のスクールバスであったり、細かい部分の聞き方が大事かと思います。そういう統合案件の細かい部分について、バスはどうですか、これに関してはどうですか、というふうに聞いていただきたい。

以前いただいたアンケート用紙は真っ白だったので、あれだけではちょっと書きにくい。これはどうですかと項目になっていると書きやすい。例えばそういうものを作ったりして、意見を吸い上げる格好を早めに形にしていただければ、いいものを作り上げていくうえでよいのではと思います。よろしくお願いします。

A：ありがとうございます。

できるだけ、いろんな意見を聞きながら、2年半でいいものを作り上げる事ができればと思います。よろしくお願いします。

○2年半で作り上げて行くという話を先程からたくさんしています。ただ、質問事項とかお願いとかの中でも、将来を見据えておっしゃっている方もかなりいらっしゃいます。2年半で紀美野中学校が開校されるのですが、そこで終了ではなくて、希望の宇宙へ～、ノーボーダーの世界へ～、など書いていただいています、そこからさらによいものにしていきたいと思います。

今の小学校1年生に子どもがいるのですが、今の小学校1年生が中学生になった時には2クラスない予定だと思います。町外から来られた方で増えない限り、おそらく1クラスになるんじゃないかと考えています。そうなった時に、6年間あったのに、やっぱり何の変化も無かったのかという、がっかりした気持ちにはなりたくない、2

年半というのが、紀美野中学校開校するにあたっての2年半。ただその後、その先も見据えて、子ども達も保護者も、いい方向に進めるように、長い目で考えていただければと思います。

A：ありがとうございます。おっしゃる通り、2年半というのは、令和7年4月に新しい中学校ができるまでの準備期間ということです。令和7年4月がスタートになります。新しい中学校のスタートをやったとそこできれるということです。そして、さらにそこからいろんなことを進めていく。進んでいくということになります。

あくまでこの2年半というのは、それに向けた準備期間ということで、ご理解いただきたいと思います。

◇本日はたくさんのご意見をいただきまして、本当にありがとうございました。

いただきましたご意見は、今後の新設中学校開校に向けて進めていく中で、参考にさせていただきたいと思います。

それでは今後とも、紀美野町教育行政に関して、ご支援、ご協力のほどお願い申し上げまして、本日の説明会を終了させていただきます。

どうもありがとうございました。

20：50 終了